

一般角 (1) ～ 一般角とは? ～

講師
矢作 裕滋

世の中には、同じことが何回も繰り返されるものがあります。たとえば時計の針、観覧車などのように何回も回転するようなものです。ある点を中心とした回転の量の表し方について学びましょう。

学習のポイント

- ① 一般角を考える必要性とは?
- ② 始線と動径
- ③ 正の向きと負の向き

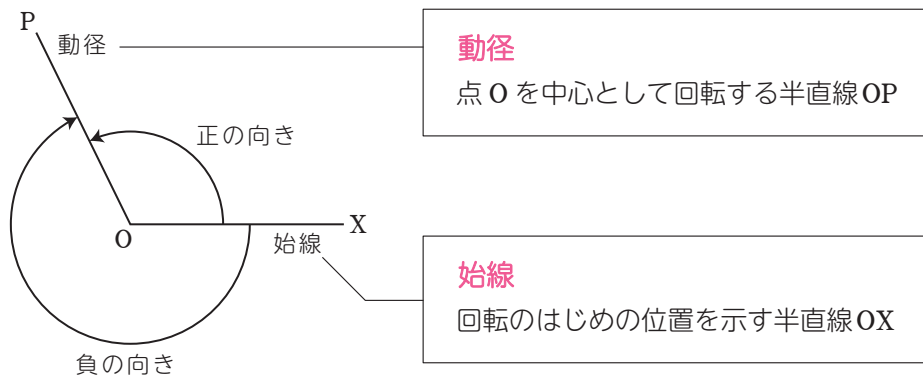
1 一般角を考える必要性とは?

角を回転の量ととらえると

☆ 時計の針と逆の向きに何回も回転 ⇔ 360° より大きい角を考える必要性

☆ 時計の針と同じ向きに回転するのか逆の向きに回転するのか? ⇔ 向きを区別する必要性

2 始線と動径



3 正の向きと負の向き

回転には2つの向きがあり、

☆時計の針の回転と逆の向きを**正の向き**

☆時計の針の回転と同じ向きを**負の向き**

とします。

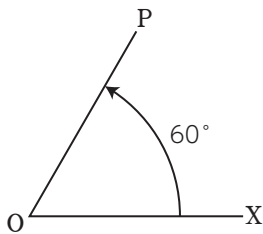
角を回転の量としてとらえると、

360°よりも大きい角や、 -60° などの負の角も考えることができます。

このように拡張して考えた角を**一般角**といいます。

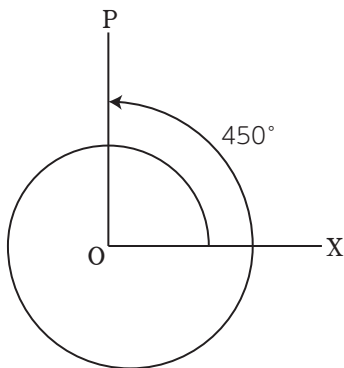
一般角の動径 OP を図示してみましょう。

(1) 60°



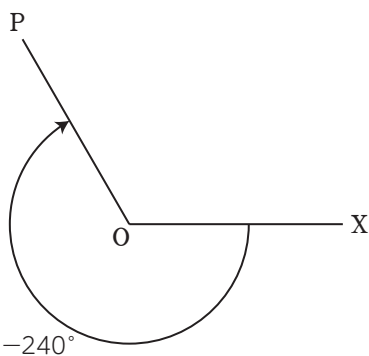
正の向き……時計の針の回転と逆の向き

(2) 450°



正の向き……時計の針の回転と逆の向き

(3) -240°



負の向き……時計の針の回転と同じ向き